

2007年度東京災害ボランティアネットワーク活動報告

2007年度の東京災害ボランティアネットワークは、ネットワーク設立の趣旨である「顔の見える」連携と協働を強く意識しながら、様々な取り組みを進めてきました。災害とライフラインをテーマにした市民シンポジウムの企画、これまでの支援活動を降り返る三宅島研修、米国 NPO との交流研修、実行委員会形式で取り組んだ4コース同時開催の帰宅困難者対応訓練。

これまで同様に、地域での防災講座への講師派遣、組織・団体からの事業委託にも応えながら、具体的な活動を主体的に「提案していく」ことに力を注いできました。

特に、2007年度の帰宅困難者対応訓練は、「2007年首都圏統一帰宅困難者対応訓練」として、東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県の一都三県を舞台とした訓練が実施されました。この訓練は、東京災害ボランティアネットワーク参加団体はもとより、関係団体や企業の方々との連携と協働を持って実施することができました。具体的な課題への取り組みを通じて、顔の見える関係を築いていく一つのモデル事業になりました。

東京災害ボランティアネットワークは、これからも来たるべき災害に備えるため、参加団体のみならず、数多くの団体・組織・市民と「顔の見える」関係を築いていきます。



写真上 : 2007年度最大の取り組みとなった帰宅困難者対応訓練。訓練のスタート地点となった日比谷公園には2000人も参加者が集まった
写真右上: 日米災害NPO交流研修ツアーでのひとコマ。2005年夏のハリケーン「カトリーナ」で最も被害の大きかった地区に残された電信柱
写真右下: 引き続き地域復興支援活動をおこなっている三宅島での現地研修会でのひとコマ。島民の方との交流の様子

■首都圏大災害に向けた具体的な対応策の検討

- ・東京で大災害が発生することが避けられないことを踏まえ、東災ボ内団体の社会的資源の確認と具体的な対応策を検討しました
- ・災害時に想定される具体的な課題に対し、市民と関係機関、民間組織・団体の協働の訓練を実施しました

【2007 年首都圏統一帰宅困難者対応訓練実施報告】

(1) 日時：2007 年 11 月 17 日（土曜日）

10:00 出発：日比谷公園

17:00 解散：4 コース各ゴール地点

(2) 会場：日比谷公園～千葉県市川市 市川市立大洲防災公園 (約 21km)

日比谷公園～埼玉県蕨市 蕨市立北小学校 (約 21km)

日比谷公園～東京都西東京市 西東京市立千駄山緑地 (約 20km)

日比谷公園～神奈川県横浜市 横浜市立芦穂崎公園 (約 22km)

上記のスタート地点・ゴール地点、および道路上で実施

(3) 内容：徒歩帰宅訓練

エイドステーション(帰宅支援ステーション)設置訓練

情報発信訓練

(4) 訓練参加者数：

・徒歩帰宅訓練 1853 名

・エイドステーション(帰宅支援ステーション)設置訓練

情報伝達訓練 1227 名

総計 3080 名

(5) 主催／共催：

主催：2007 年首都圏統一帰宅困難者対応訓練実行委員会

主管：東京災害ボランティアネットワーク

共催：東京都石油業協同組合／JB 日本接骨師会／東京労働者福祉協議会／東京ボランティア・市民活動センター／連合東京／連合千葉／連合埼玉／連合神奈川／東京都生活協同組合連合会／東京 YMCA／シャンティ国際ボランティア会／

(6) 後援／協力：

後援：東京経営者協会／東京商工会議所

東京都／千葉県／埼玉県／千代田区／港区／中央区／墨田区／江東区／葛飾区
／江戸川区／品川区／大田区／文京区／豊島区／板橋区／新宿区／中野区／杉
並区／練馬区／西東京市／戸田市／蕨市／市川市／川崎市／横浜市市民活力推
進局

協力：中央労働金庫／全労済東京都本部／西武鉄道株式会社／(財)移動無線センター
凸版印刷株式会社／真如苑 SeRV／尾西食品株式会社／(特)地域創造ネットワ
ーク 西東京ボランティア・市民活動センター／国際ボランティア学生協会 (特)
危機管理対策機構／自立支援センターふるさとの会／(株)シェアール東日本物
流 豊島区社会福祉協議会／大日本インキ化学工業株式会社東京工場／ ヤマト
運輸株式会社 北東京主管支店／防災士研修センター／(株)レスキューナウ 株
会社協同商事／株式会社ユニパックス／(株)ニチレイフーズ／東京都共同募金会
日本通運(株)／東京都水道局／連合／(株)コンポーズ・ユニ／(株)ペンタックス／川
崎消防署／トキメック／日本 HP(株)／市川災害ボランティアネットワーク／ち
よだボランティアセンター みなとボランティアセンター／中央区ボランティア
区民活動センター 江東ボランティア・センター／練馬ボランティア・市民活動
センター すぎなみボランティア・地域福祉推進センター／豊島ボランティアセ
ンター 品川ボランティアセンター／鶴見区災害ボランティアネットワーク
いだばし総合・ボランティアセンター／高野山東京別院

以上



当日は、総勢で 3000 名を超える参加者となり、これまでで最大規模の訓練となりました。TV
局も取材に訪れ、訓練当日の夕方のニュースでも放映されました。参加できなかった方々に対
しても大きな気づきとなりました。

■地域や組織・団体の防災力向上に向けた取り組み

・地域や組織・団体の講座・研修に講師派遣・プログラム提供をおこなうことで、防災力向上に向けた取り組みを実施しました

【講師派遣】(38回)

2007.05.11	防災士研修センター	防災士研修	講師派遣	*1
2007.05.27	連合千葉	災害V講座	講師派遣	
2007.06.07	三多摩・高退連	防災講座	講師派遣	
2007.06.17	連合埼玉	災害V講座	講師派遣	
2007.07.12	コープとうきょう	防災市民講座	講師派遣	
2007.07.13	自立生活センター立川	防災講座	プログラム提供	
2007.08.05	防災士研修センター	防災士研修	講師派遣	*1
2007.08.25	静岡県V協会	災害V講座	講師派遣	*2
2007.08.28	TEPCOホウテックセンター	防災市民講座	講師派遣	
2007.08.26	内閣府		委員派遣	*3
2007.09.15	静岡県V協会	災害V講座	講師派遣	*2
2007.10.04	東北福祉大学		委員派遣	*4
2007.10.06	静岡県V協会	災害V講座	講師派遣	*2
2007.10.12	防災士研修センター	防災士研修	講師派遣	*1
2007.10.20	千葉県	災害V講座	プログラム提供	*5
2007.10.21	明治大学公共政策大学院	フォーラム	講師派遣	
2007.10.27	千葉県	災害V講座	プログラム提供	*5
2007.11.03	静岡県V協会	災害V講座	講師派遣	*2
2007.11.18	港区台場地区防災協議会	総合防災訓練	講師派遣	
2007.11.20	港区芝支所	防災講座	講師派遣	
2007.12.15	静岡県V協会	災害V講座	講師派遣	*2
2008.01.19	静岡県V協会	災害V講座	講師派遣	*2
2008.01.22	渋谷環境衛生協会	防災市民講座	講師派遣	
2008.01.27	多摩市VC	災害V講座	プログラム提供	
2008.02.04	東京都理容組合	防災市民講座	講師派遣	
2008.02	足立区	防災市民講座	講師派遣	

2008.02.10	とちぎボランティアネットワーク	災害 V 講座	プログラム提供
2008.02.15	都立南多摩高校	総合学習	講師派遣
2008.02.17	藤枝市社協	災害 V 講座	プログラム提供
2008.02.21	市川市	防災市民講座	講師派遣
2008.03.08	小金井 VC	災害 V 講座	プログラム提供
2008.03.12	埼玉県社協	職員研修	講師派遣
2008.03.19	東京 YMCA	避難所体験訓練	プログラム提供
2008.03.26	東久留米市社協	災害 V 講座	講師派遣

*1：防災士研修関東会場での講座

*2：静岡県 V 協会実施の静岡県内 6 カ所での講座

*3：内閣府「防災ボランティア活動検討会」への委員派遣

*4：東北福祉大地域減災センター「人材育成プロジェクト」評議委員

*5：千葉県災害対策コーディネーター養成講座(千葉県内 2 カ所)

【委託事業】(5 事業)

・地域や組織・団体といった「集団として」の防災力向上に向け、市民講座や研修などを開催しました

日立製作所(2 回)

2007.05.16	日立製作所四国支社	防災 V 講座	第一回	講義
2007.05.20	日立製作所四国支社	防災 V 講座	第二回	まち歩き

全労済東京都本部

2007.05.26	東京の防災・減災を考えるつどい(シンポ)	企画運営	*P8 参照
------------	----------------------	------	--------

東京都生協連(8 回)

2007.09.15	災害ボランティアリーダー養成講座	第一回	開講式/記念講演
2007.10.13	災害ボランティアリーダー養成講座	第二回	池袋防災館
2007.11.17	災害ボランティアリーダー養成講座	第三回	徒歩帰宅訓練
2007.12.01	災害ボランティアリーダー養成講座	第四回	炊出し体験/応急救護体験
2008.01.19	災害ボランティアリーダー養成講座	第五回	災害救出劇観賞
2008.02.09	災害ボランティアリーダー養成講座	第六回	普通救命講習/AED 講習
2008.02.23	災害ボランティアリーダー養成講座	第七回	防災まち歩き体験
2008.03.15	災害ボランティアリーダー養成講座	第八回	修了式/振り返り座談会

台東区(3回)

- 2008.12.01 災害ボランティア養成講座 第一回 講義/災害 VC 立ち上げ訓練
- 2008.12.08 災害ボランティア養成講座 第二回 防災まち歩き
- 2008.12.15 災害ボランティア養成講座 第三回 普通救命講習/シミュレーション

港区立台場児童館(1回)

- 2008.01.26 防災市民講座 防災まち歩き体験/非常食試食体験



防災まち歩きプログラムを中心に、炊き出し体験・応急救護、そしてシミュレーション体験など、様々な市民プログラムを実施してきました。対象も、子どもから大人まで、団体の職員・スタッフから一般の方まで様々です。

■ 広く市民の方々の防災・減災意識啓蒙に向けた取り組み

・より多くの様々な主体が参画・協働できるイベント型啓蒙活動やシンポジウムを実施しました。

◇防災・減災シンポジウムの開催・企画協力等

「東京の防災・減災を考えるつどい ～大災害と東京のライフライン～」

日 程：2007 年 5 月 26 日(土) 13:30～17:00

場 所：浜離宮朝日ホール

主 催：全労済東京都本部・東京労済

内 容：基調講演：東京の都市政策と市民生活の安全課題(青山やすし氏)

パネルディスカッション：大災害と東京のライフライン

基調講演：青山やすし(明治大学公共政策大学院教授・

東京災害ボランティアネットワーク副代表)

コーディネーター：上原泰男(東京災害ボランティアネットワーク事務局長)

パネリスト：青山やすし氏 明治大学公共政策大学院教授

大橋裕寿 氏 東京電力(株)総務部防災グループマネージャー

坂口央一 氏 東京ガス(株)導管ネットワーク本部 防災・供給部長

長岡敏和 氏 東京都水道局建設部長

参加者：約 400 名



全労済東京都本部創立 50 周年事業として実施された市民防災シンポジウムの企画運営を担当。東京電力・東京ガス・東京都水道局と、ライフライン企業の防災担当者が集まり、様々な資料を提供しながら、東京の災害にどう備えているか発表していただき、同時に、市民としてどう備えるか意見交換がなされました

◇1.17 イベントの開催

毎年1月17日前後に全国的に開催されている「1.17 灯りのつどい」。東京災害ボランティアネットワークでは、2000年から取り組み続けているイベントですが、多くの団体とともに連携・協働するイベントとして定着しています。

いま、わたしたちに、できること。2008 KOBE MEMORIAL 1.17 灯りのつどい

日	時	2008年1月12日(土)16:00~18:00	
場	所	東京国際フォーラム地上広場	
内	容	開会セレモニー／1.17 灯りのつどい／負傷者対応訓練／展示 炊き出し／煙ハウス体験／防災クイズ／スクリーン映像	
参 加 者	一般参加者	800名	
	ボランティア参加	250名	



1995年1月17日の阪神・淡路大震災の「追悼イベント」としての側面と、これからの災害に備えるための「防災・減災イベント」としての側面、二つの側面を持つ市民イベントとして実施されています。準備から片づけまで、事前に募集をしたボランティアで進めていきます。このイベントでは、東災ボ参加団体だけでなく、各種関係団体や企業の方々との連携が実現しました。

■参加団体、および関係団体との連携を深める活動

東京災害ボランティアネットワークの全ての活動は、参加団体、および関係団体との信頼関係に基づく連携と協働によって実施されています。2007 年度の首都圏統一帰宅困難者対応訓練や、1.17 イベントはその最たる取り組みではありますが、今年度は、日米災害 NPO 交流研修ツアーを実施し、2005 年のハリケーン「カトリーナ」の被災地となったニューオーリンズ視察や、ニューヨークの NPO との交流を通じ、国内団体だけではなく、国外の団体とも交流することができました。

日米災害NPO交流研修ツアー

日時：2007 年 9 月 3 日～12 日

場所：アメリカ合衆国(ニューオーリンズ・ニューヨーク)

内容：ハリケーン「カトリーナ」被災地視察、米国災害 NPO との交流

主催：東京災害ボランティアネットワーク

協力：明治大学危機管理研究センター他

参加：東京都生協連／連合東京／東京ボランティア・市民活動センター／東京都共同募金会／みやげじま〈風の家〉のメンバー／明治大学危機管理研究センター／東京災害ボランティアネットワーク事務局 計 17 名



ツアー中、9つの米国の団体と交流。様子は毎日右図のようなニュースとして日本に配信されました。

■三宅島支援センター、みやけしまく風の家>を通じた被災地支援

東京災害ボランティアネットワーク、東京ボランティア・市民活動センター、東京ハンディキャブ連絡会、三宅島社会福祉協議会によって設立された「三宅島災害・東京ボランティア支援センター」は、2005年2～8月の第一期三宅島支援プログラム―三宅島帰島支援ボランティア活動―を遂行した後、高齢者・障害者世帯への復興支援となる第二期支援プログラム―みやけしまく風の家>運営―を2005年10月より推進しています。

東京災害ボランティアネットワークは、三宅島支援センターの一員として、主体的にこれら活動の運営を担いました。

三宅島支援(三宅島支援センターとして実施)

- ・みやけしまく風の家>運営支援

- ・三宅島交流事業

2007年04月	東水労研修 東京都生活協同組合連合会環境部会視察交流
2007年05月	都議会民主党視察交流 パルシステム協同組合視察交流 荒川区職視察交流
2007年07月	三宅島現地研修会実施 *P13 参照
2007年10月	連合東京視察交流
2007年12月	年末お掃除ボランティア活動交流

三宅島への支援は、みやけしまく風の家>の運営支援と、研修・交流事業を通じておこなわれました。特に、研修・交流事業は「みやけしまく風の家>」への財政支援にもなっています。



左写真：これまで東京災害ボランティアネットワークの活動でもお世話になっている三遊亭京楽さんを迎えるの落語会の様子
上写真：2007年4月の東水労研修時

三宅島現地研修会

2000 年 9 月から 4 年 5 ヶ月もの間の困難な全島避難期、2005 年 2 月からの帰島期、そして現在に至るまでの期間に、三宅島島民を支えようとした方々の思いと具体的事業を振り返り、共に歩んだ事業の特徴と到着点を探る研修となりました。

日時：2007 年 7 月 5 日～8 日

場所：三宅島島内関係施設

内容：講義・報告プログラム／島内現状視察／島民交流プログラム 等

主催：三宅島災害・東京ボランティア支援センター

東京災害ボランティアネットワーク

参加：連合東京／ユニバーサルボランティア／東京 YMCA／JHP 学校を作る会／
SVA／(株)レスキューナウ／ふるさとの会／東京都生協連／東京災害ボラン
ティアネットワーク事務局

計 21 名



左写真：最終日に開催したミニシンポ。三宅島支援の中心を担った団体によって、支援活動を通じた連携と協働について意見交換をおこないました。

左下写真：島内の農家の方に、島の農業事情をビニールハウス内で伺いました

中下写真：2005 年の帰島支援事業時に拠点としていた施設(伊豆老人福祉館)を見学

右下写真：2000 年の噴火からの映像を交え三宅島支援活動を振り返りました



■突発的に発生する災害への支援

突発的に発生する災害に対し、東京災害ボランティアネットワークは、会員団体、および関係機関と連携して被災地支援・被災者支援に取り組みました。

新潟県中越沖地震視察

2007年7月(福田信章現地視察)

柏崎市災害ボランティアセンター、刈羽村災害ボランティアセンター、
連合新潟、にいがた市民生協、新潟総合生協



2007年7月16日に発災した新潟県中越沖地震災害。幸いにも犠牲者はほとんど出ませんでしたが、大きな被害となりました。

右上写真：訪問したお宅の被害の様子
左上写真：柏崎市内の商店街の店舗は軒並み大きな被害を受けていました
右下写真：TV で何度も放映された、土砂に埋まった青海駅の様子



■ 運営体制の強化

◇ 財政体制の強化(各種事業プログラム作成と事業委託の検討)

東災ボの財政体制を強化するにあたり、会費納入の徹底を図ると共に、事業収入の増加を図りました。各事業をプログラム化し、行政や企業・団体へプログラム実施を提案し、各自治体や企業・団体からの事業委託も検討しました。2007 年度は、2 つの自治体と、3 つの民間団体からの委託事業を実施しました。

目標額

会費収入 170 万円

事業収入 880 万円

達成額

会費収入 約 86 万円

事業収入 約 642 万円

◇ 事務局体制の強化

事務局体制強化として、2008 年 2 月より、月 1~2 回で、厚澤糸江さんが非常勤事務局員としてお手伝いいただけることになりました。

■ 特定非営利活動法人の取得

東災ボに対する社会的信頼と期待に応え、責任ある事業体への発展を目指すため、特定非営利活動法人東京災害ボランティアネットワーク設立の議決が 2004 年度、2005 年度総会にて議決されました。それに基づき、法人格認証申請準備を進めてまいり、住所の変更という事情もあり、申請が遅れています。早急に申請をして、法人格取得に向け取り組みます。



2008 年 2 月より、月 1~2 回、事務局のお手伝いをしてくださることになった厚澤さん。写真は、三宅島帰島支援事業の際に撮影されたもの

■事業推進に向けた機関運営報告

東京災害ボランティアネットワークは、2007 年度も様々な事業を実施してきました。

東京災害ボランティアネットワークは、ネットワーク団体として各参加団体の方々と連携・協働して具体的事業に取り組み、事業の中で、団体間・組織間の役割や個性に気づきつつ、「顔の見える関係」作りに努めてきました。そして、これらの事業はいずれもが、各種会議の中で、意見交換され、合意しながら取り組んできたものです。

ある意味、事務局会議や運営委員会が定期的開催できていることが東災ボの一つの役割といえます。

◇事務局会議の開催

毎月第四月曜日に開催されている事務局会議。東災ボの事業を運営するにあたり、その具体的方法や実施要綱を協議する場です。また、参加団体の様々な活動に触れることができる場ともなっています。

◆第一回事務局会議：2007 年 4 月 23 日

- ・2007 年度総会について
- ・「TOSAIBO TIMES」編集委員会について
- ・帰宅困難者対応訓練計画作成プロジェクト設立について
- ・三宅島研修会実施に向けた実行委員会の開催について
- ・全労済東京都本部 50 周年記念企画について

◆第二回事務局会議：2007 年 5 月 28 日

- ・2007 年度総会について
- ・「TOSAIBO TIMES」編集委員会について
- ・帰宅困難者対応訓練計画作成プロジェクト設立について

◆第三回事務局会議：2007 年 6 月 25 日

- ・2007 年度総会報告について
- ・「TOSAIBO TIMES」について
- ・帰宅困難者対応訓練進捗状況について
- ・三宅島現地研修会について
- ・日米災害 NPO 交流研修ツアーについて

◆第四回事務局会議：2007 年 7 月 23 日

- ・新潟県中越沖地震について

- ・帰宅困難者対応訓練進捗状況について
- ・東京都総合防災訓練について
- ・「TOSAIBO TIMES」について

◆第五回事務局会議：2007 年 8 月 27 日

- ・新潟県中越沖地震について
- ・帰宅困難者対応訓練進捗状況について
- ・東京都総合防災訓練について
- ・2007 年度第一回運営委員会について

◆第六回事務局会議：2007 年 9 月 25 日

- ・日米災害 NPO 交流研修ツアー報告について
- ・帰宅困難者対応訓練進捗状況について

◆第七回事務局会議：2007 年 10 月 22 日

- ・帰宅困難者対応訓練進捗状況について
- ・1.17 イベント実行委員会について
- ・三宅島お掃除ボランティア 2007 について

◆第八回事務局会議：2007 年 11 月 26 日

- ・帰宅困難者対応訓練実施報告について
- ・1.17 イベントについて
- ・三宅島お掃除ボランティア 2007 について

◆第九回事務局会議：2007 年 12 月 17 日

- ・帰宅困難者対応訓練報告会について
- ・1.17 イベントについて
- ・三宅島お掃除ボランティア 2007 実施報告について

◆第十回事務局会議：2008 年 1 月 28 日

- ・今月の活動報告と来月の活動予定について
- ・1.17 イベント報告について
- ・2008 年度総会について
- ・2008 年度帰宅困難者対応訓練について
- ・2008 年度アメリカ研修ツアーについて
- ・2008 年度三宅島研修ツアーについて

◆第十一回事務局会議：2008 年 2 月 25 日

- ・今月の活動報告と来月の活動予定



事務局会議・運営委員会では、事業の対案や報告の他にも、東災ポのあり方、方向性などが話し合われています

- ・ 2008 年度総会について
- ・ 2008 年度帰宅困難者対応訓練について
- ・ 2008 年度アメリカ研修ツアーについて
- ・ 2008 年度三宅島研修について

◆第十二回事務局会議：2008 年 3 月 24 日

- ・ 今月の活動報告と来月の活動予定
- ・ 2008 年度総会について
- ・ 2008 年度帰宅困難者対応訓練について
- ・ 2008 年度日米交流ツアーについて

◇運営委員会の開催

毎月実施されている事務局会議とは別に、各種事業の提案や報告をおこなう場として、また、東災ボ参加団体の皆様が集まれる場として開催している運営委員会。年 4 回の開催が予定されています。第一回 2007 年 8 月 29 日、第二回 2007 年 12 月 19 日、第三回 2008 年 4 月 23 日となっています。運営委員会は東災ボ運営委員団体の会議室を持ち回りでお借りしての開催となっています。

◆第一回運営委員会

日 時：2007 年 8 月 29 日(水) 19:00~21:00

場 所：シャンティ国際ボランティア会 会議室

議 題：新潟県中越沖地震について

帰宅困難者対応訓練進捗状況について

日米災害 NPO 交流研修ツアーについて

三宅島研修ツアーについて

東京都生活文化スポーツ局との意見交換について

東災ボ災害時機能検討プロジェクトの設立について

◆第二回運営委員会

日 時：2007 年 12 月 19 日(水) 19:00~21:00

場 所：東京ボランティア・市民活動センター 会議室

議 題：帰宅困難者対応訓練報告会について

1.17 イベントについて

三宅島お掃除ボランティア 2007 について

この間の東災ボの取り組みについて

◇役員会の開催

第一回 2007 年 10 月 10 日、第二回 2008 年 1 月 24 日、第三回 2008 年 5 月 22 日となっています。

◆第一回東京災害ボランティアネットワーク役員会

日 時：2007 年 10 月 10 日(水) 16:30~18:00

場 所：連合東京 会議室

議 題：帰宅困難者対応訓練進捗状況について
日米災害 NPO 交流研修ツアーについて
三宅島研修ツアーについて
東京都生活文化スポーツ局との意見交換について
東災ボ災害時機能検討プロジェクトの設立について
次回役員会日程について

◆第二回東京災害ボランティアネットワーク役員会

日 時：2008 年 1 月 24 日(木) 15:00~17:00

場 所：東京 YMCA 会議室

議 題：直近の活動報告
1.17 イベント報告
2008 年度総会について
2008 年度帰宅困難者対応訓練について
2008 年度アメリカ研修ツアーについて

また、事務局会議や運営委員会・役員会以外にも、各種事業のための検討プロジェクト会議や実行委員会（「帰宅困難者対応訓練実行委員会」「1.17 イベント実行委員会」など）の場が設定され事業に取り組んでいます。



東災ボ内外の様々な団体が参画する大きな事業の際には、委員会・プロジェクト形式の場が設けられます。